

1. 日 時 令和5年10月12日（木）13:00～14:00
2. 会 場 オンラインで各所（Zoom を利用）
3. 参加者 11名（外国人講師 5名 / アドバイザー 6名）
4. 開催内容 自己紹介、事務局からのお知らせ、その他意見交換。

[illegible]

◆石戸よりご報告

◆今後の実施状況の共有

(2)【その他の意見交換】

- 学校側から講師の希望地域等がある場合について

以前、とある学校の申請で特定地域・国の講師を希望されていたため、対象以外の地域・国出身講師には募集メールを送らなかったケースがあった。その際、自分にはメールが届いていないと講師から心配の声が上がった。どのような募集方法がよいのか？

→募集メールの中に、「この地域・この国の講師を募集している」と要件を記入した上で、講師全員に送るのが良い。自分が対象外の場合も、募集があったこと自体を知りたい。

→自分が対象外の募集については、メールいらないという意見もあり。

→情報は平等に一斉送信が良いと思う。エラー等でメール受信できていないのかと心配になるため。

★今後は、対象地域等の特別要件がある・ないに関わらず、全講師・アドバイザーに情報を一斉送信する。本文中に募集の要件をわかりやすく記入し、対象の方に手を挙げていただく。

●募集の仕組みが変わってから、やりやすくなったのか？

→アドバイザーの立場としては、手を挙げた講師の中から派遣講師を決定するのは、とてもやりやすい。一方で、忙しい登録講師はメール返信で手を挙げるのを躊躇されている方もいるのではないかと。今年度からスタートした仕組みでまだはじまったばかりのため、様子を見つつ進めていきたい。

→応募してから決定まで少し時間がかかることもあり、手を挙げるかどうか迷っているうちに期限がきてしまうこともある。徐々にこのやり方に慣れていければと思う。

→講師の選定はとてもやりやすくなっている。電話をたくさんかけたけど断られて調整することはなくなった。

●アドバイザー同士、講師同士で普段情報交換をしているか？

→主に LINE で連絡を取り合っている。みなさんと情報交換ランチをしたい。

→学校でお会いしたときにはやりとりするが、普段は忙しいため最近はやりとりしていない。

→以前は、学校の授業終わりにお茶をすることもよくあった。その際にいろいろと情報交換していた。

●アドバイザーと講師のやりとりはどうしているか？

→以前はメールと電話でやりとりすることが多かった。

→最近ではLINEでの連絡がとりやすい。授業ごとにグループを作って基本的なやりとりはLINEでしている。細かい相談や調整は、個人個人に電話をかけることもある。

- 派遣講師のバランスがとれていないことも多く、登録講師の少ない地域・国の新講師を募集したいと思っているが、どのような募集方法が効果的か？

→国際交流関係のイベントや外国人の弁論大会などに足を運び、直接声がけするのはどうか。実際にコミュニケーションをとりながら声がけすると良い。

- 申請のある学校がさいたま市や南部に集中しているため、他地域にもぜひ広げてほしい。

- 以前に比べて学校からのリクエストが変化してきたことはあるか？

→SDGsに関連した内容も踏まえて授業をしてほしいというリクエストも多い。

→実際に学校とやり取りする中で感じるのは、今現在の各国の国策や取り組みを紹介するというよりは、講師がかつて自国にいた頃に経験した身近な話題でSDGsにつながる話をするのが良い。

- 最近の世界情勢のこともあり、自国の話をどのように、どのような立場として伝えたらよいか、迷いながら行っている。

→このような大変な状況の中で情報も限られる中、実際に国の話をしてくれる人がいるということ自体が貴重な機会。協会としてもありがたく感じている。国の代表というよりも、一個人として、ありのままにぜひお話をしていただきたい。

(2)【その他の共有事項】

先日とある学校訪問で、20年ほど世界へのトビラの受け入れをされている先生とお話する機会があった。当時トビラの授業を受けた子どもたちが成人し、中には海外で活躍をしている方もいるとのこと。あらためて、本事業を通じて子どもたちが世界を身近に感じられる機会となること、そして、何かのきっかけとなって子どもたちの未来につながる経験になりうることを実感した。今度とも実り多い事業になるよう、引き続きご協力を願いたい。